

カラー図表 ※ここでは、モノクロでは表現しにくい図表をカラー掲載しています。

湖岸生態系の保全・修復および管理に関する政策課題研究



図 2.4 南湖における 1940 年代末の抽水植物帯・湖岸線位置および現在の湖岸線位置・人口湖岸位置 (本文 124 ページ)

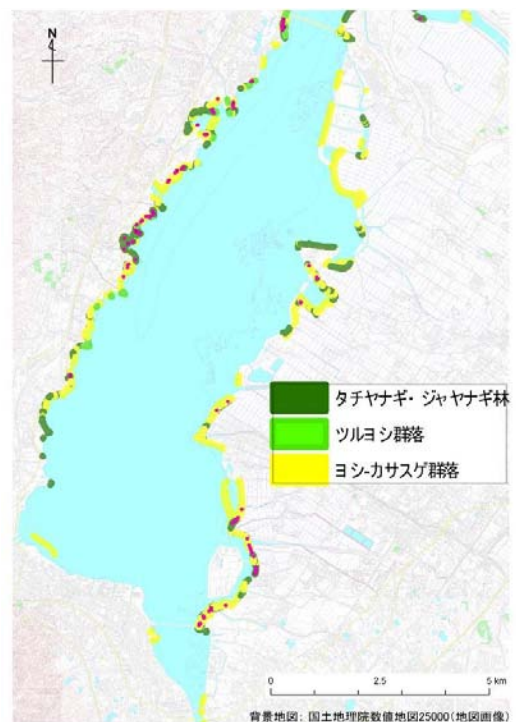


図 3.5 貴重植物の分布と湖岸植生 (本文 128 ページ)

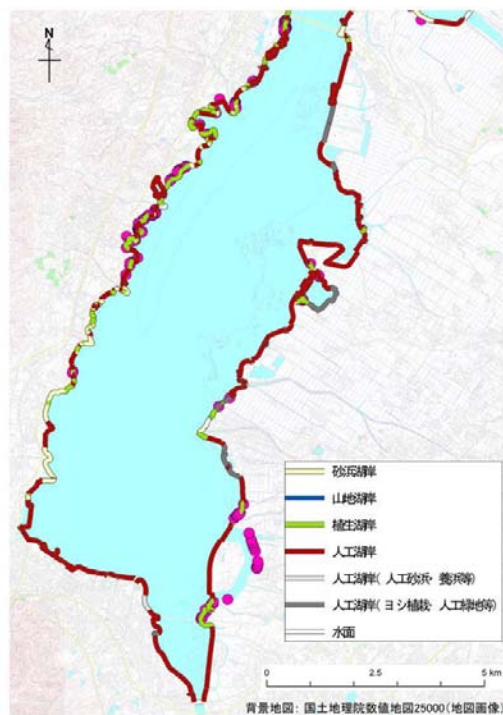


図 3.5 貴重植物の分布と湖岸類型 (本文 128 ページ)

琵琶湖の低酸素化の実態把握および北湖生態系に与える影響の把握に関する解析モニタリング

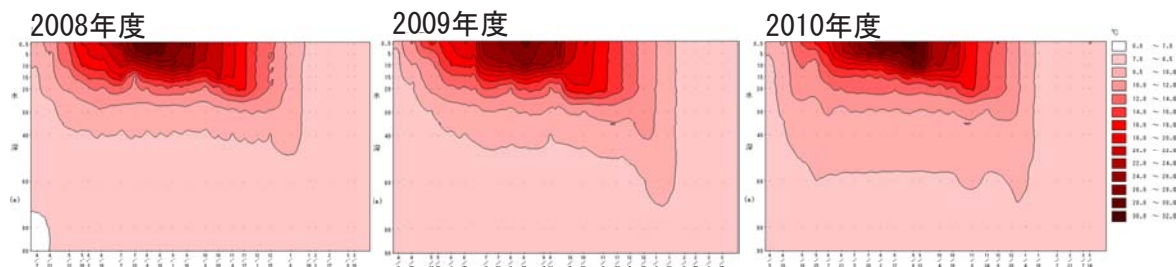


図 2.8 今津沖中央定点（17B）での水温の鉛直分布の時間変化（本文 155ページ）

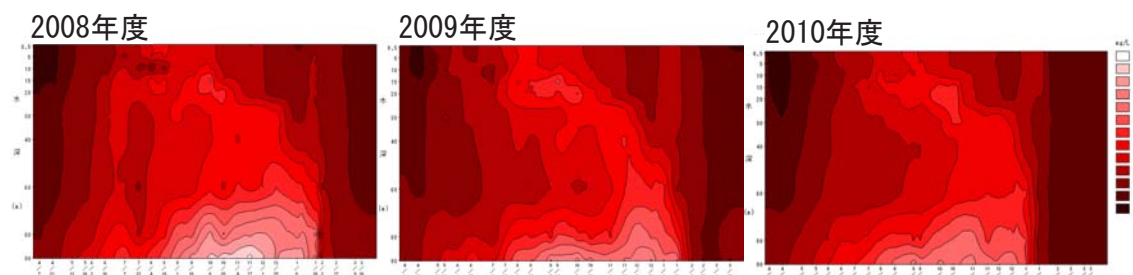


図 2.9 今津沖中央定点（17B）での溶存酸素濃度の鉛直分布の時間変化（本文 155ページ）

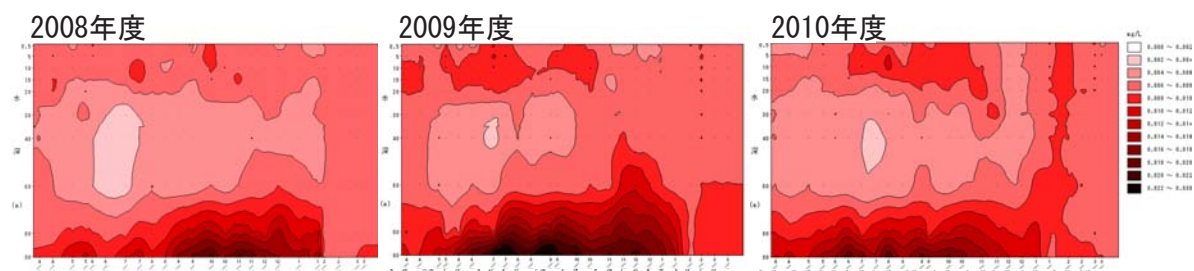


図 2.10 今津沖中央定点（17B）での全りん濃度の鉛直分布の時間変化（本文 155ページ）

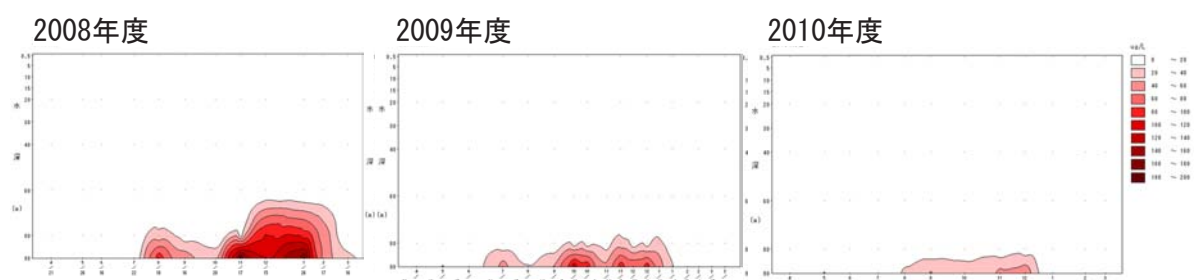


図 2.11 今津沖中央定点（17B）でのマンガン濃度の鉛直分布の時間変化（本文 155ページ）

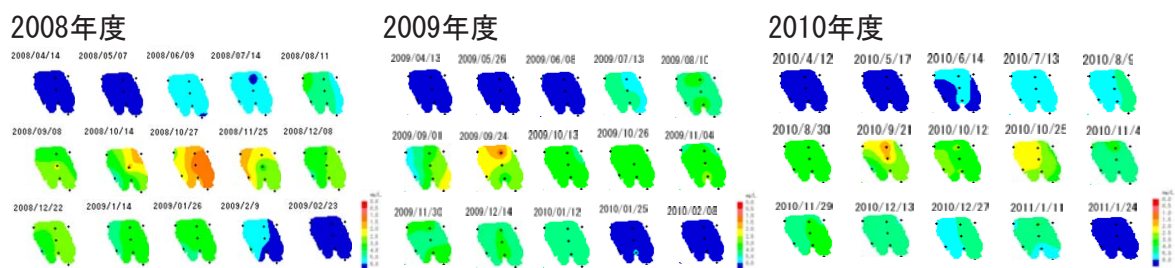


図 2.12 今津沖第一湖盆の水深 90m の溶存酸素濃度の平面分布の時間変化（本文 155ページ）

琵琶湖におけるプランクトン等の長期変遷に関する解析モニタリング

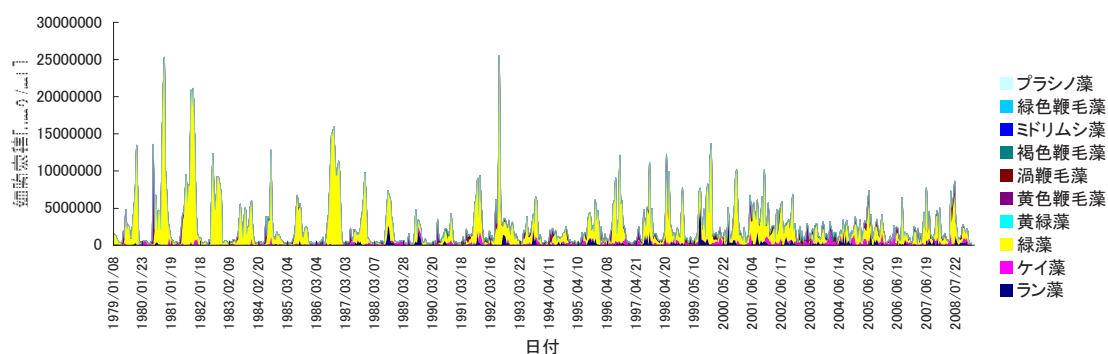


図 3 北湖今津沖中央 (17B) 表層 0.5m の植物プランクトンバイオマス経時変化 (細胞容積 $\mu\text{m}^3/\text{mL}$) : 本文 200ページ)

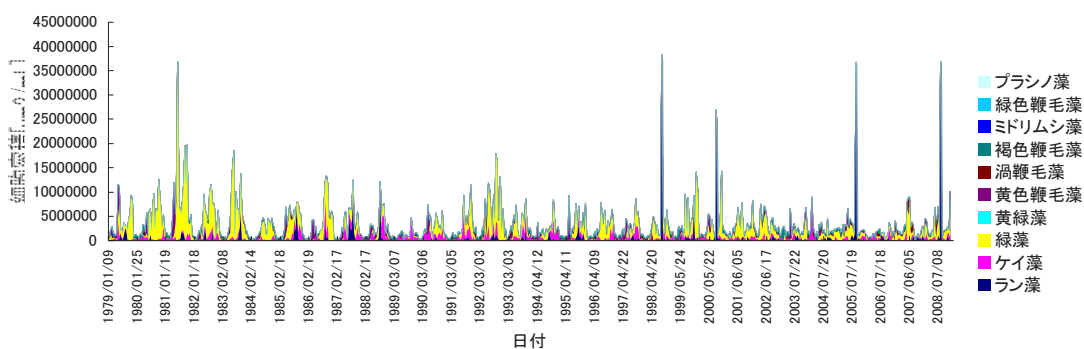


図 4 南湖唐崎沖中央 (6B) 表層 0.5m の植物プランクトンバイオマス経時変化 (細胞容積 $\mu\text{m}^3/\text{mL}$) : 本文 200ページ)

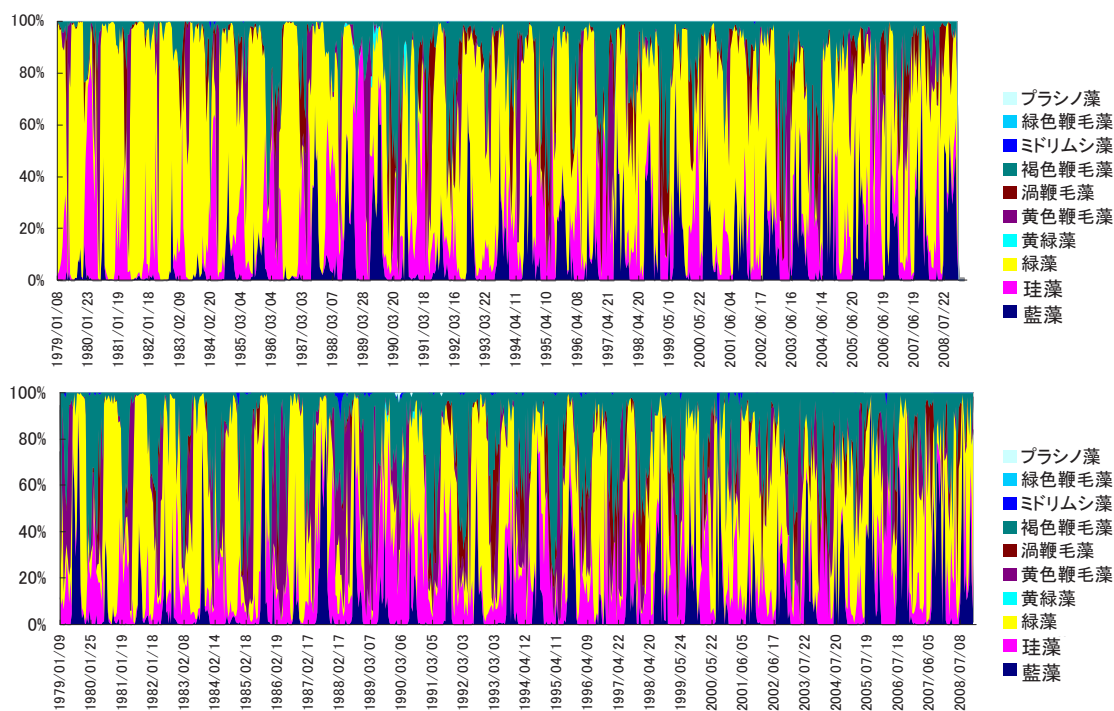


図 6 琵琶湖における植物プランクトン網別の炭素量優占率の経年変化
(上図：今津沖中央 (17B) 表層, 下図：唐崎沖中央 (6B) 表層 : 本文 201ページ)

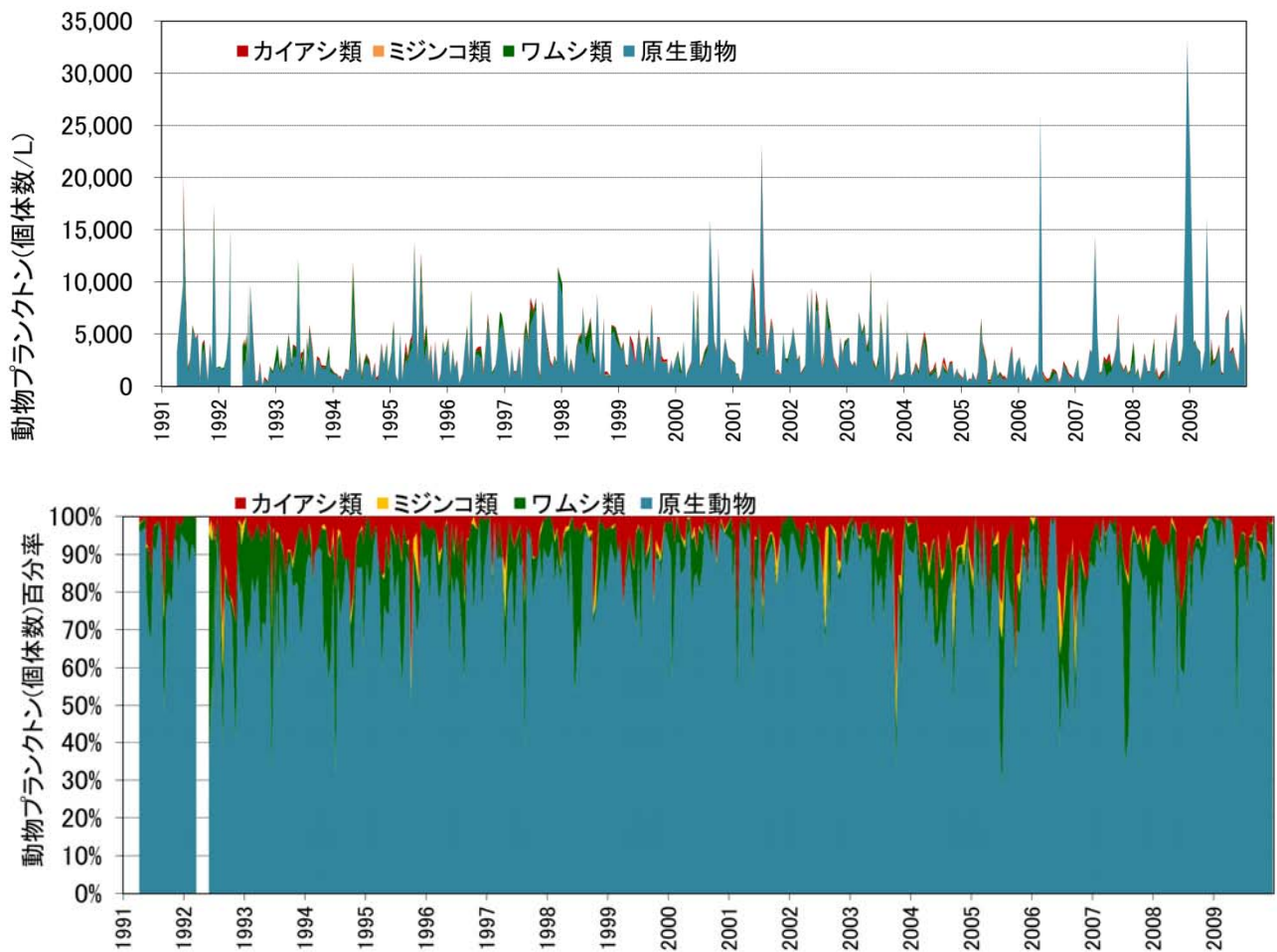


図9 北湖今津沖中央(17B)水深5mにおける動物プランクトン個体数の変遷（上）および各分類群の百分率（下）（本文 207ページ）

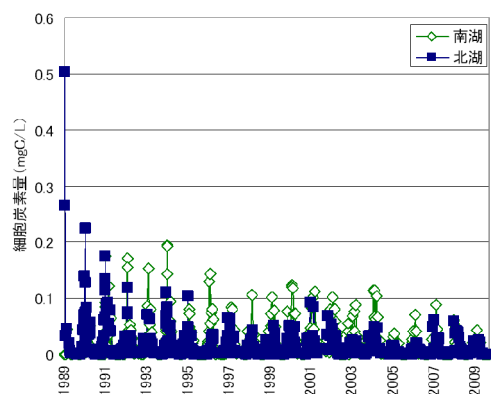


図15 ピコ植物プランクトンの細胞炭素量の変遷（本文 211ページ）

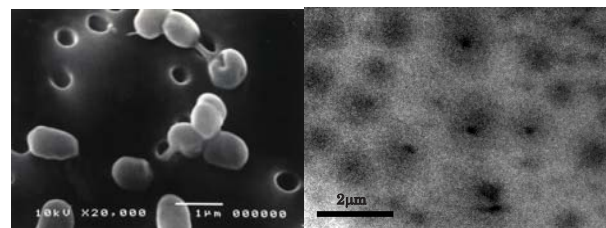
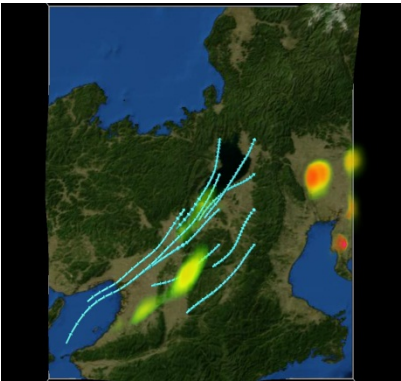


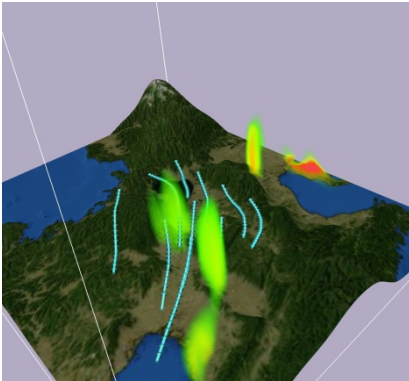
写真2 ピコ植物プランクトンの電子顕微鏡写真（左）と軟X線顕微鏡写真（右）（関西医科大：竹本）（本文 212ページ）

大気環境の現状評価に関する解析モニタリング

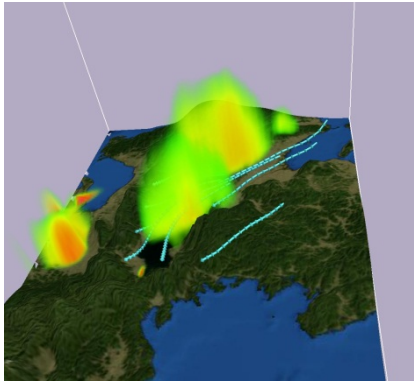
11 時 直上から



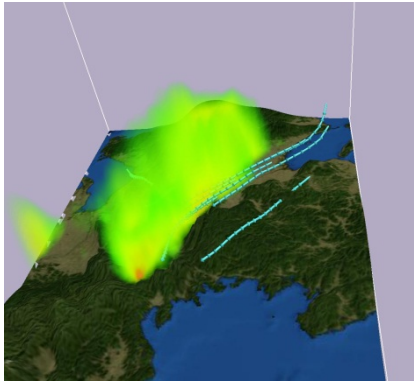
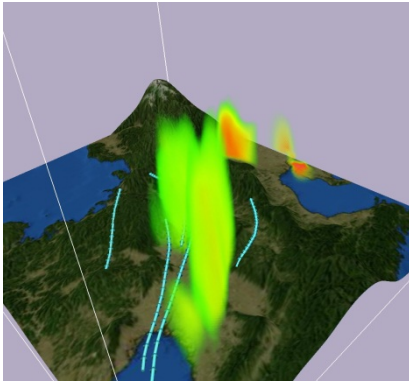
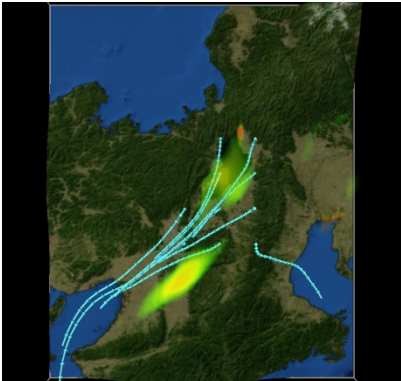
大阪湾上空から



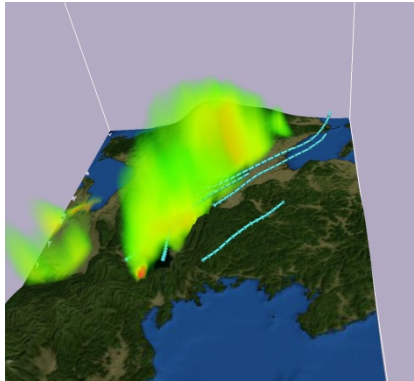
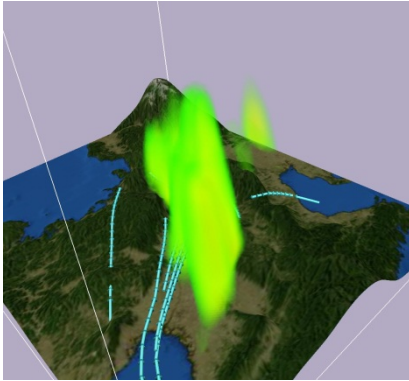
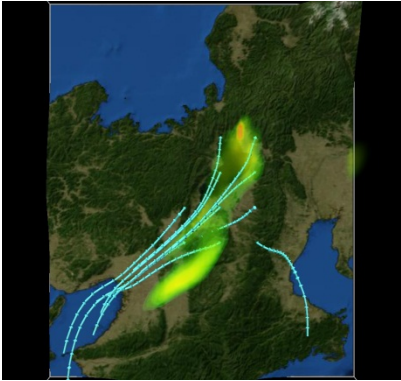
若狭湾上空から



13 時



15 時



17 時

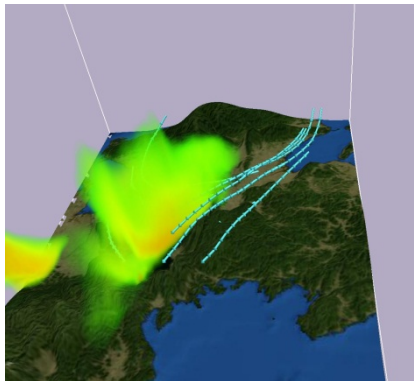
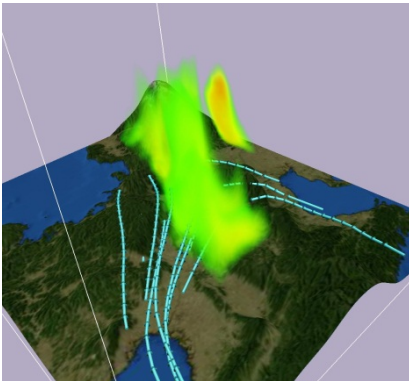
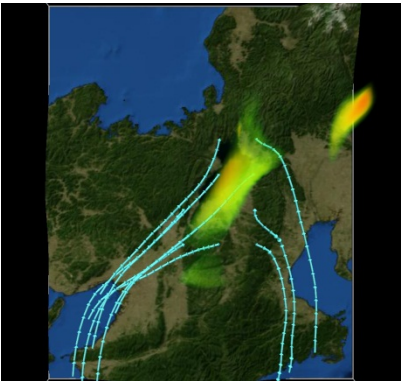


図 3.1.14 パターンA3 の鳥瞰図 (2009 年 6 月 2 日)

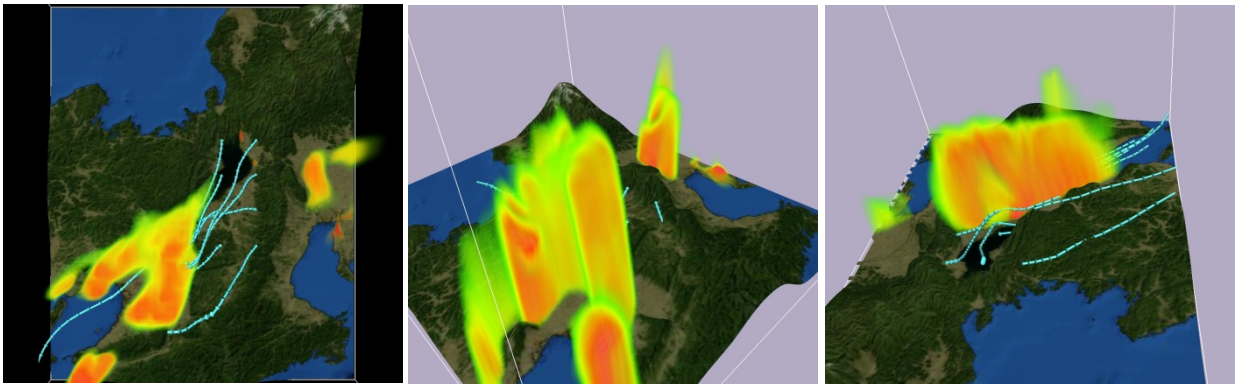


図 3.1.15 パターンA2の鳥瞰図 (2009年6月26日)

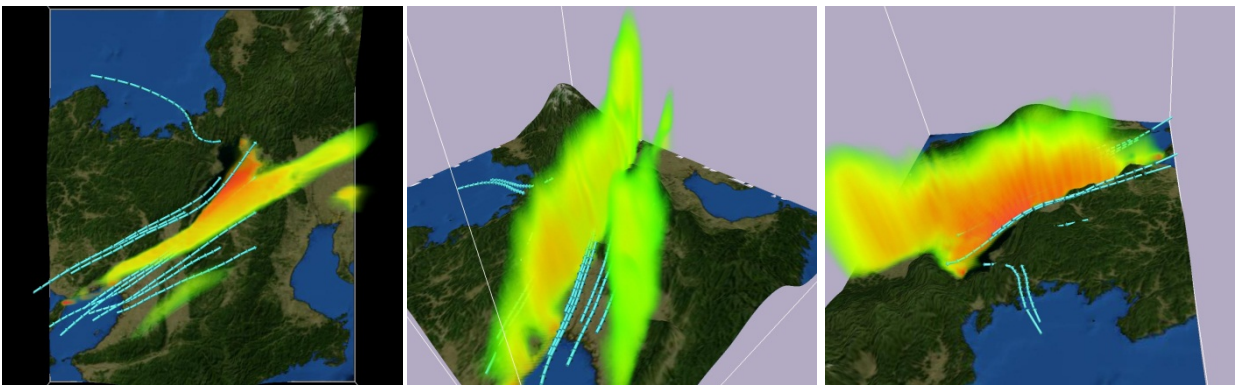


図 3.1.16 パターンB3の鳥瞰図 (2007年5月9日)

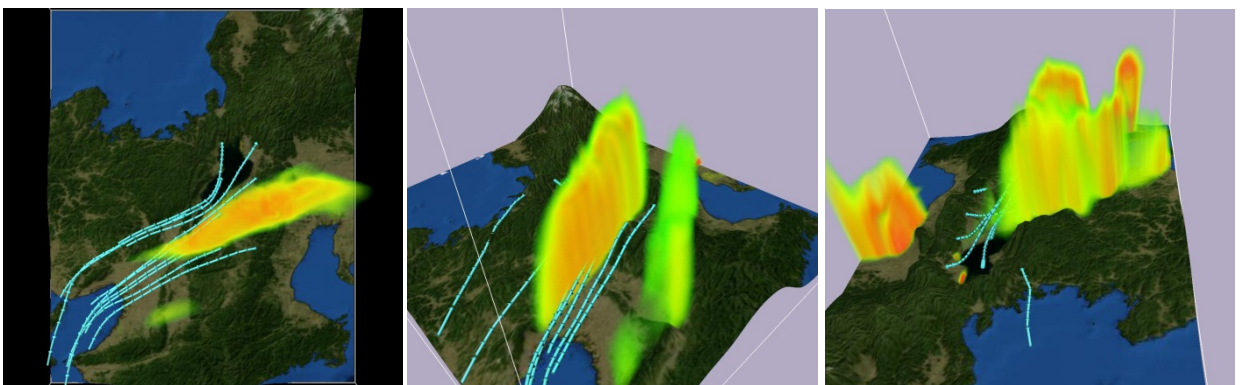


図 3.1.17 パターンB2の鳥瞰図 (2002年6月10日)

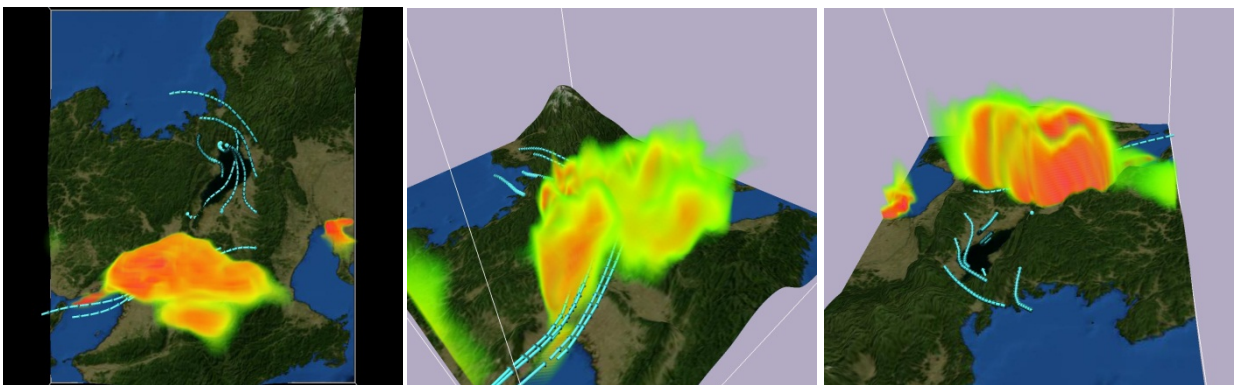


図 3.1.18 パターンC3の鳥瞰図 (2001年6月4日)

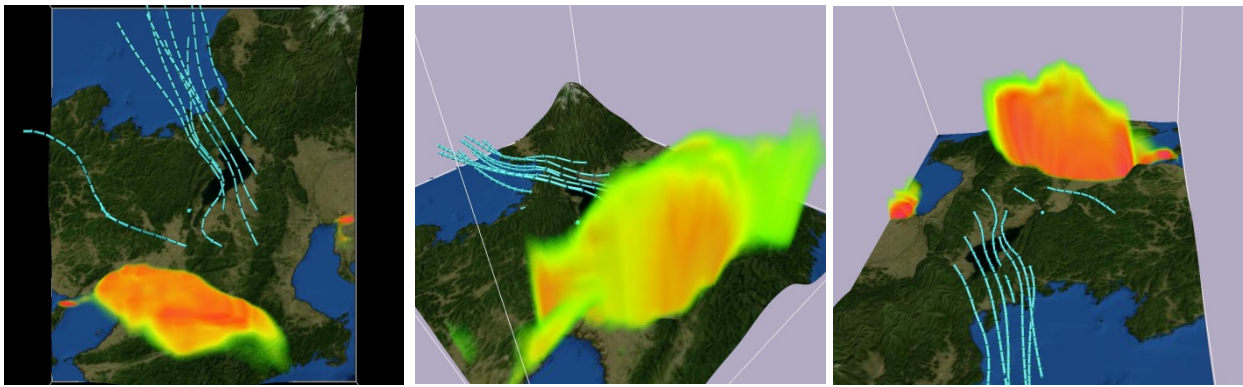


図 3.1.19 パターンC2の鳥瞰図 (2006年8月1日)

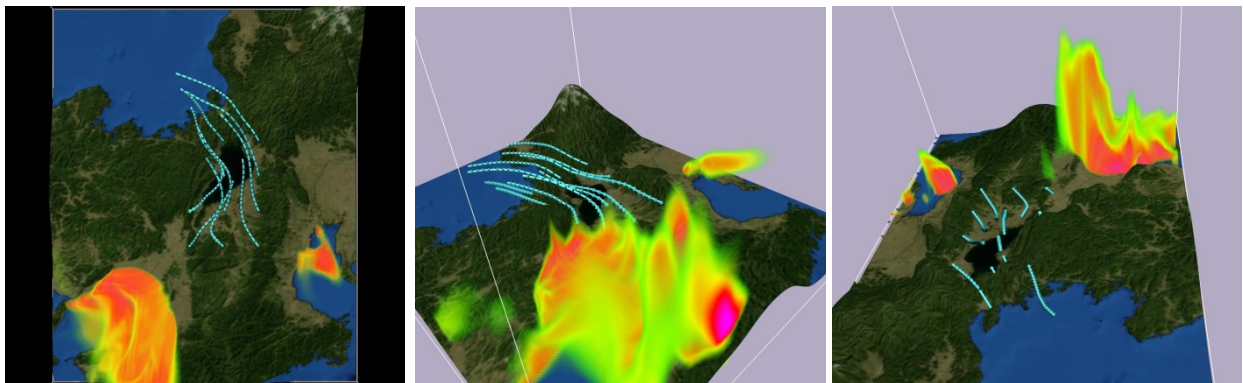


図 3.1.20 パターンX1の鳥瞰図 (2009年5月20日)

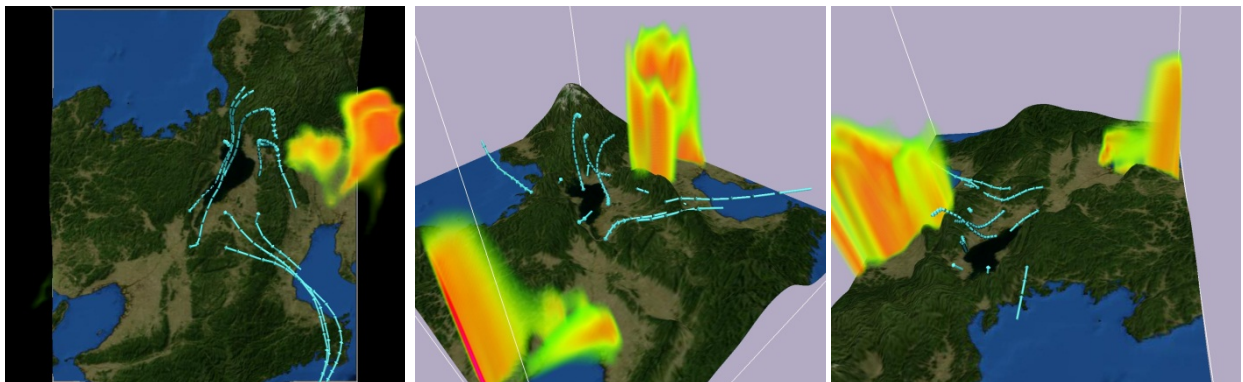


図 3.1.21 パターンD3の鳥瞰図 (2005年8月5日)

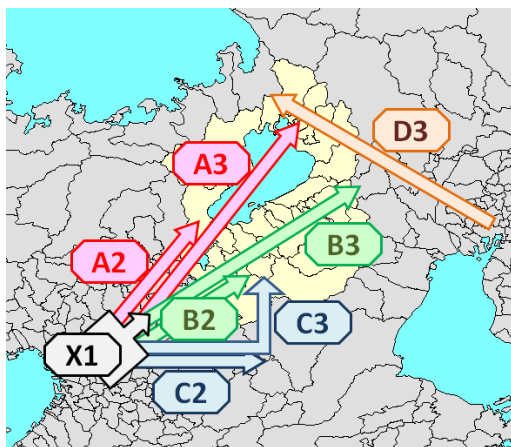


図 3.1.1 8パターン



図 3.2.4 滋賀県における大気観測地点

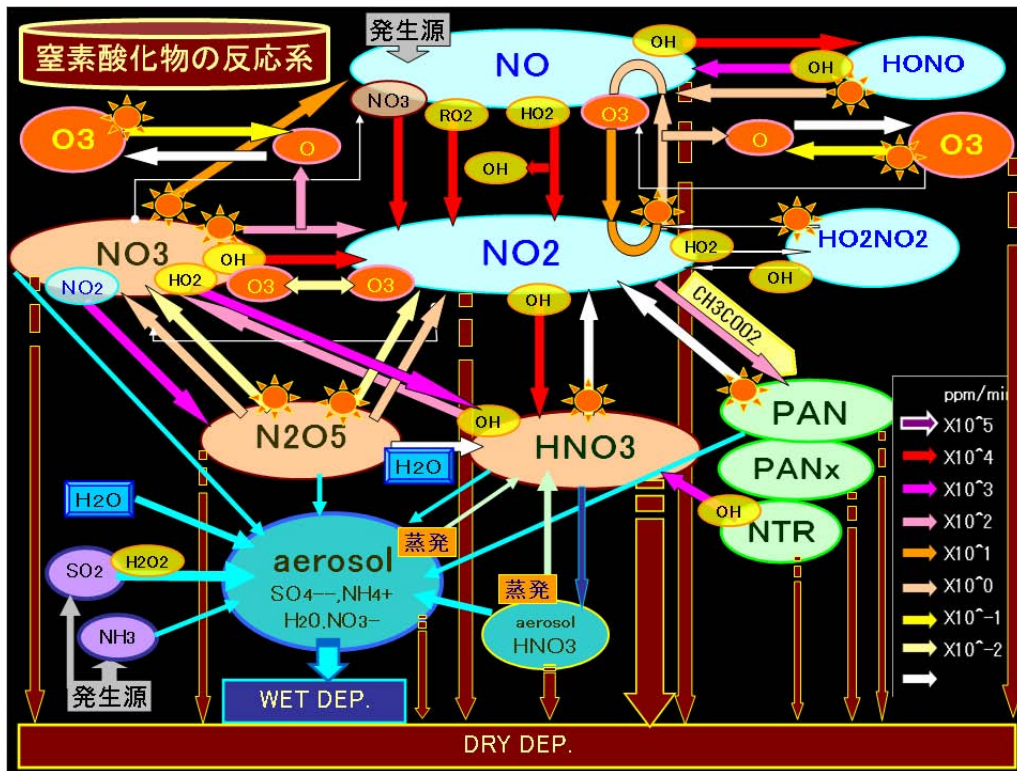


図 4.2.2 モデルで用いた窒素酸化物の反応系（反応速度[ppm/min]はC B 2 0 0 5による）

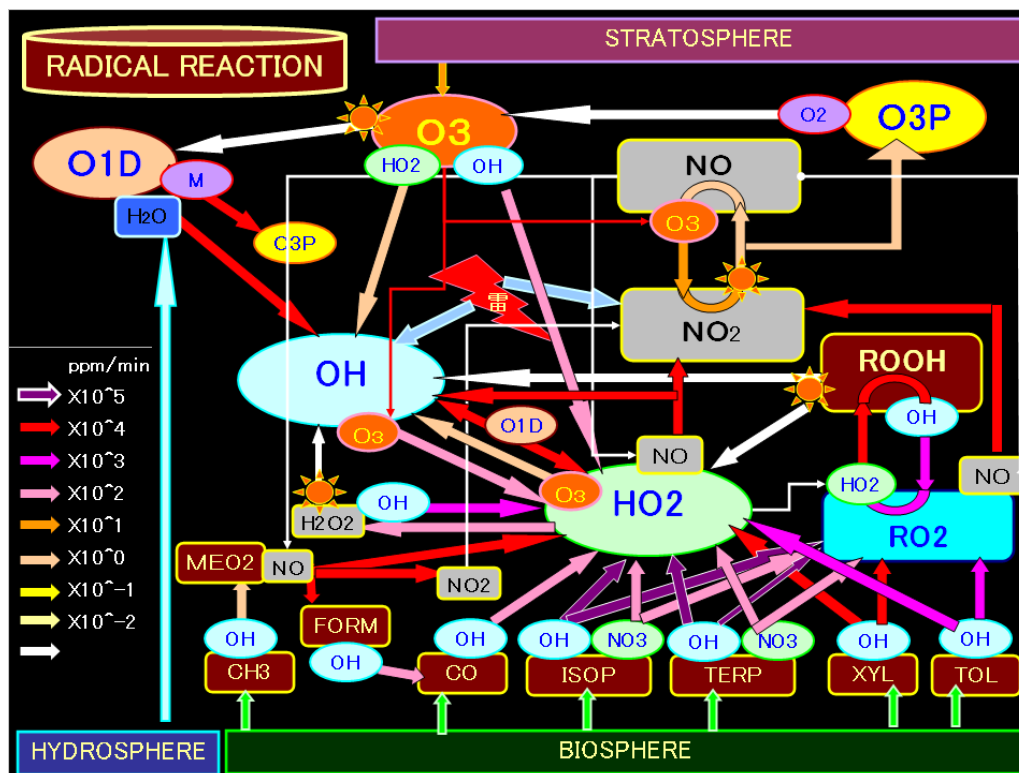
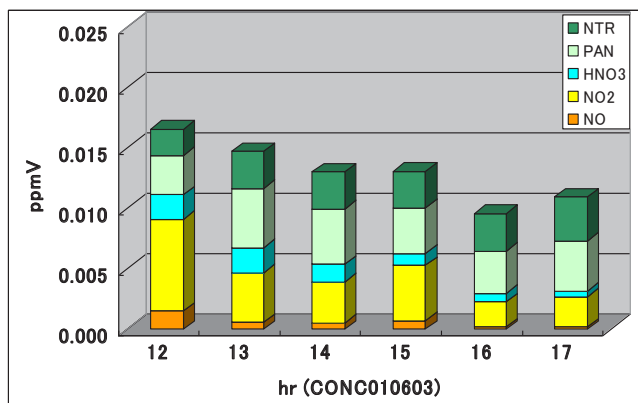
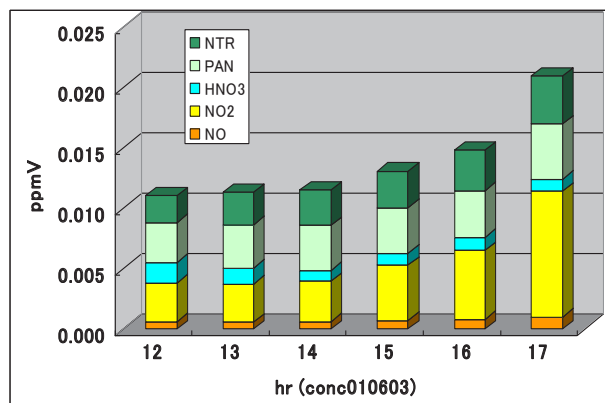


図 4.2.3 モデルで用いたラジカルの反応系（反応速度[ppm/min]はC B 2 0 0 5による）

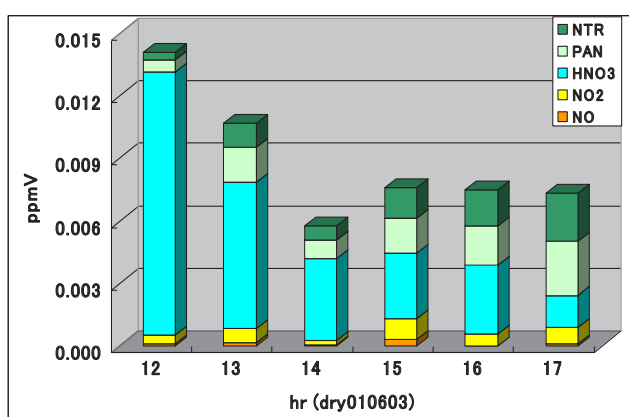
移流した地点における窒素酸化物濃度



15 の地点における窒素酸化物濃度



移流した地点における窒素酸化物の乾性沈着量



15 の地点における窒素酸化物の乾性沈着量

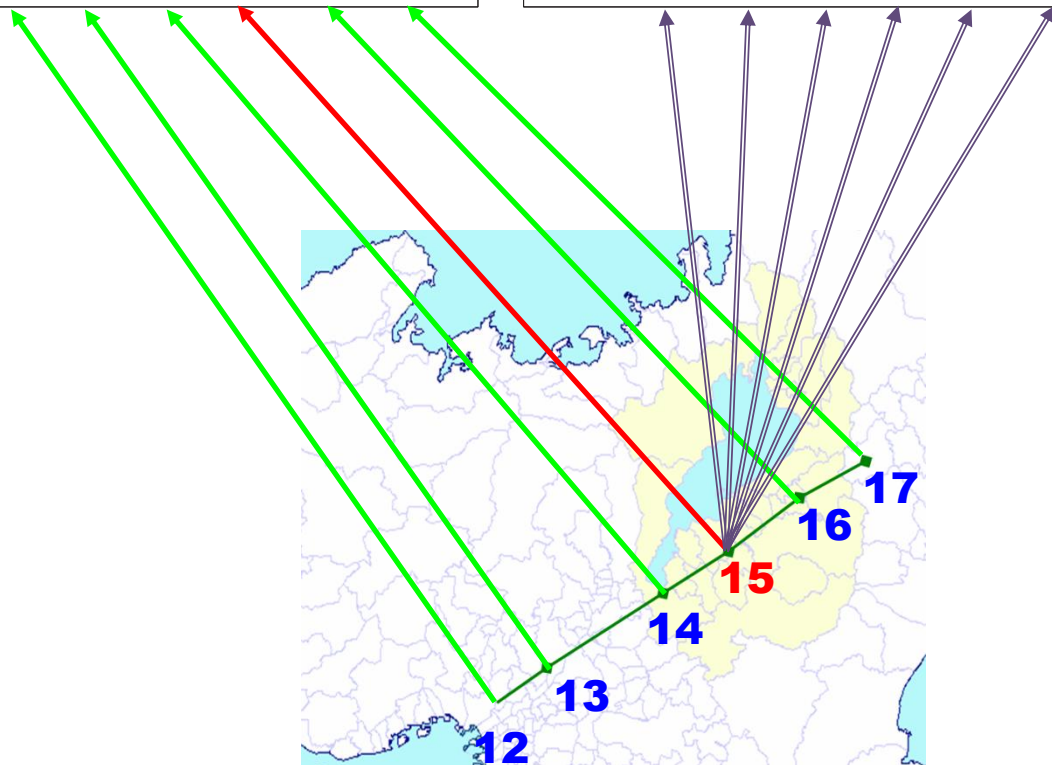
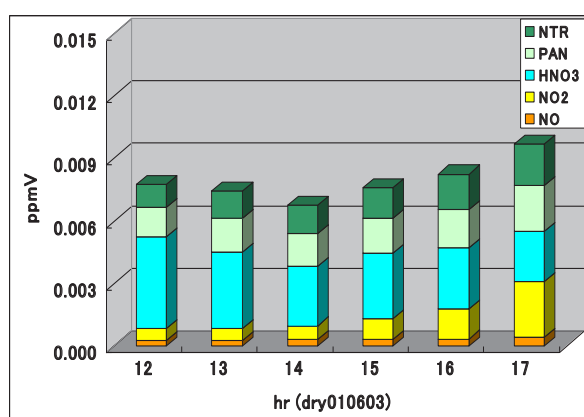
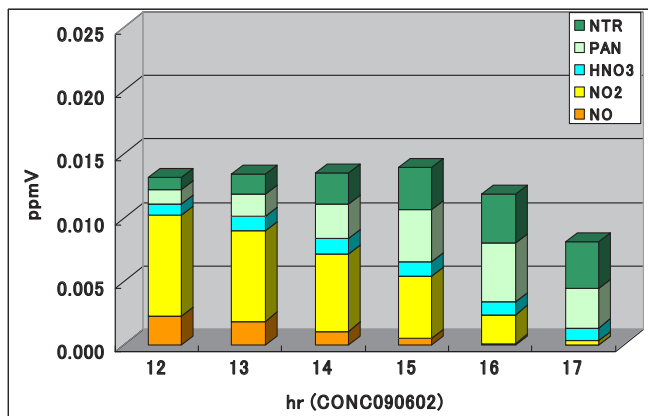
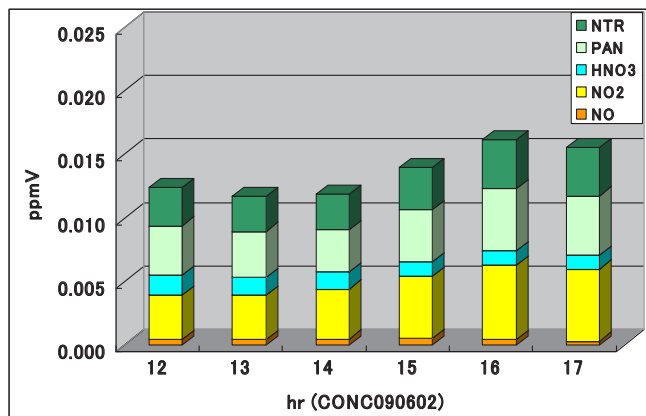


図4.2.4 窒素酸化物の濃度変化(2001年6月3日)

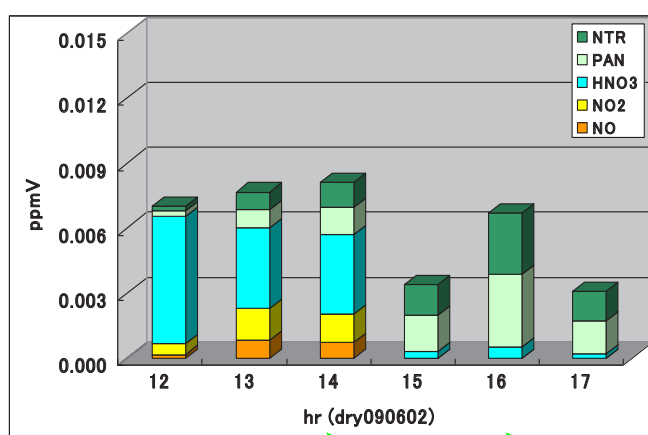
移流した地点における窒素酸化物濃度



15 の地点における窒素酸化物濃度



移流した地点における窒素酸化物の乾性沈着量



15 の地点における窒素酸化物の乾性沈着量

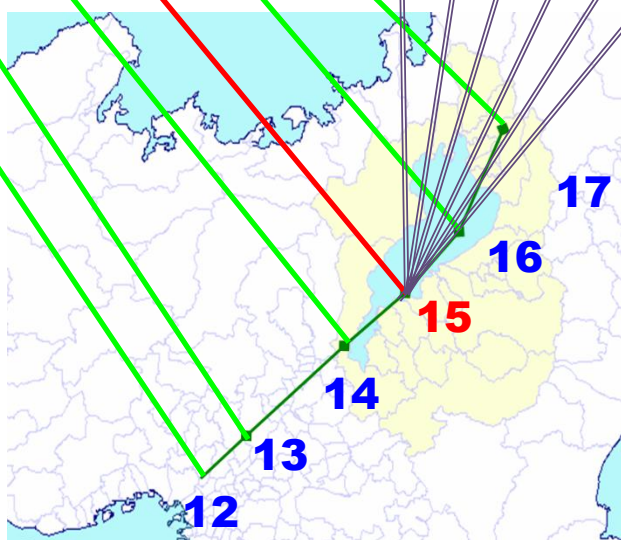
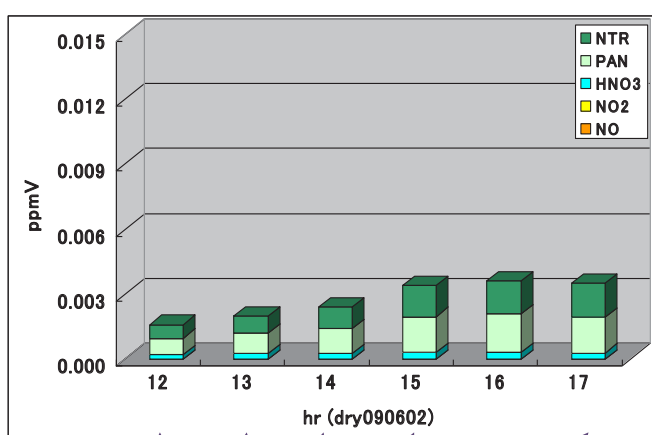


図 4. 2. 5 窒素酸化物の濃度変化(2009年6月2日)